

令和6年度前期

学校評価だより

令和6年8月30日

教育目標- 自主・協和・錬磨

電話 0258-62-0987

FAX 0258-62-0483

Mail minami@mitsuke-ngt.ed.jp

Homepage <https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/minami/>

今年度1学期の学校評価アンケートに御協力くださり、ありがとうございました。学校の現状を多角的かつ適切に分析して、総合的に判断し、精選し、実施したいと考えております。生徒一人一人の自己肯定感が向上し、学校生活が充実して活力のあるものになるよう、生徒や保護者の皆様のアンケート結果から、4月から8月の成果と課題をまとめました。対策を立てて推進するとともに、皆様の御理解と御支援を賜り、学校生活の充実と心身の健全な成長につなげて参ります。

評価は、目標値に対して、A:「達成」、B:「おおむね達成」、C:「課題がある」としています。

1 知育 「教え合い、学び合いながら、より確かな学びを追求する生徒」

(1) 教育活動

＜授業改善、職員研修＞



＜教え合い、学び合いの推進＞



(2) 成果目標

(3) 肯定的割合

(4) 評価

- ① 年3回の国語、数学、英語の基礎学力テストで、80点を上回る生徒が80%以上になる。
- ② 学校生活アンケート（7、12月）の「授業が分かる」生徒が90%以上になる。
- ③ 学校生活アンケート（7、12月）の「学習規律強調週間と家庭学習強調週間で、学年×10分間以上（1年生70分間以上、2年生80分間以上、3年生90分間以上）取り組んだ」生徒が80%以上になる。
- ④ 標準学力調査（CRT）の正答率が全国平均を上回る。
- ⑤ 全国学力・学習状況調査の平均正答率を上回る生徒が80%以上になる。
- ⑥ 学期末の評価で3観点のすべての評価がB以上の生徒が80%以上になった教科が8割以上である。

78.1%

B

88.2%

B

1年生 89.3%
2年生 70.0%
3年生 93.3%

A

4/14教科

C

53.4%

C

4/15教科

C

(5) 成果と課題

① 標準学力調査（CRT）（4月実施）

この学力調査は、全国値の正答率を50としたときの換算値で受験した学校の正答率を全国値と比較します。全国値に達しなかった学年の教科は、7月までに教科部会で協議し、課題を明らかにしました。

教科	学力調査の結果	課題
国語	1年生の正答率が、全国値を上回りました。 2年生は、ほぼ同程度でした。	指定された長さや構成で文章を書いたり、自分の考えをまとめて作文したりすることに課題があります。
社会	3年生の正答率が、全国値を上回りました。	資料の活用や複数の情報を関連付ける問題に課題があります。
数学	1年生の正答率が、全国値を上回りました。	データの分布の活用、計算、空間図形、1次関数、方程式の立式に課題があります。
理科	各学年の正答率は、全国平均正答率をやや下回りました。	電気の利用と動物のからだのつくりに関する分野、計算や説明問題に課題があります。

英語	1年生の正答率が、全国値を上回りました。	長文の読み取りと3文以上の英作文の問題に課題があります。
----	----------------------	------------------------------

② 全国学力・学習状況調査の結果（3年生4月実施）

国語、数学が実施されました。

教科	学力調査の結果	課題
国語	全国平均正答率をやや下回りました。	漢字、情報の要約、目的や意図に応じて文章の材料を整理すること、短歌の表現技法の理解に課題があります。
数学	全国平均正答率を下回りました。	図形、データの活用、グラフの解釈、式の意味や事象を読み取り問題解決の方法を説明することに課題があります。

※①、②の学力調査でよくできた問題や課題に対する対策は、学校だより10月号に掲載します。

③ 今後の取組・改善点

ア 学力調査やテスト等での結果が全国平均正答率や目標値に達していない現状について、さらに分析し、対策を決めて推進します。

イ アの分析を受けて、「授業が分かる」ことを実感できる授業改善に全校体制で取り組みます。

ウ 朝学習で文章の読み取りの練習を継続し、問題や解答の条件を確実に理解できる読解力と、文章、データ、資料を読み取る力を身に付けさせます。

2 徳育 目指す生徒像「他と助け合い、支え合い、豊かな心を求める生徒」

(1) 教育活動

<生徒の集い>



<あいさつ運動>



<SNS 教育プログラム>



<人権教育、同和教育>



(2) 成果目標

(3) 肯定的割合

(4) 評価

① 学校生活アンケート（7、12月）で、「自分の活動や行動を他者から認めてもらったことがある」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。	84.5%	A
② 学校生活アンケート（7、12月）で、「自分の仕事や役割を責任をもって果たしている」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。	94.8%	A
③ 学校生活アンケート（7、12月）で、「自分は学校や地域のボランティア活動に主体的に参加している」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。	56.7%	B
④ 学校生活アンケート（7、12月）で、「道徳の授業で、他者の意見を聞き、自分の考えをまとめることができた」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。	98.3%	A
⑤ 学校生活アンケート（7、12月）で、「学校、家庭、地域で自分から先に挨拶をしている」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。	91.0%	A
⑥ 学校生活アンケート（7、12月）で、「自他の人権を尊重し、いじめを許さない、見逃さないという気持ちをもって生活した」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。	95.4%	A

見附市小中学校 共通アンケート	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	93.8%
	難しいことでも、失敗を恐れず挑戦していますか。	76.3%
	協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか。	88.1%
南中アンケート	行事の際に目標を意識して行動することができた。	91.5%

(5) 成果と課題

① 成果として、次のことが挙げられます。

ア 昨年度までの学校評価では、「自分によいところがあるか」という質問に対して、B評価でし

た。今年度は、「自分の活動や行動を他者から認めてもらったことがある」、「自分の仕事や役割を、責任をもって果たしている」など、「自分のよさ」に関する質問をより具体的にしました。どの質問も肯定的評価がA評価でした。

イ 「自他の人権を尊重し、いじめを許さない、見逃さないという気持ちをもって生活した」の肯定的評価の割合が95.4%と高い数値でした。

② 課題として、次のことが挙げられます。

ア 「学校や地域のボランティア活動に主体的に参加している」「難しいことでも失敗を恐れず挑戦している」がB評価でした。生徒が、物事に主体的に取り組もうとしたり、積極的に関わろうとしたりする姿勢や意識を強くもつことが課題です。

イ 「自他の人権を尊重し、いじめを許さない、見逃さないという気持ちをもって生活した」の肯定的評価の割合は高いです。しかし、1学期の学校生活では、相手の立場や気持ちを考えず、自己中心的で配慮のない言動やSNSでの誹謗中傷などが、全ての学年でありました。日頃の自分の言動を客観的に振り返り、自分に厳しく評価する姿勢や思考をもつとともに、自他の人権を尊重した言動がどのようなものであるかをしっかりと理解したり、いじめは犯罪であること、いじめを見ても止めないことも加害者と同じ立場であることを認識して、見逃さずに大人に知らせたりすることができるようになることが課題です。

③ 今後の取組・改善点

ア ボランティア活動への参加や地域で行事に関わり運営に加わることが、将来のキャリア形成や高等学校へ送られるキャリアパスポートに反映されることを生徒に強く認識してもらい、2学期に「手挙げ式ボランティア活動」に1回以上参加するよう呼びかけを継続します。1学期にボランティア活動に参加した生徒の振り返りを紹介したり、ボランティアの予定を生徒会総務局や福祉委員会が昼の放送で周知したりします。

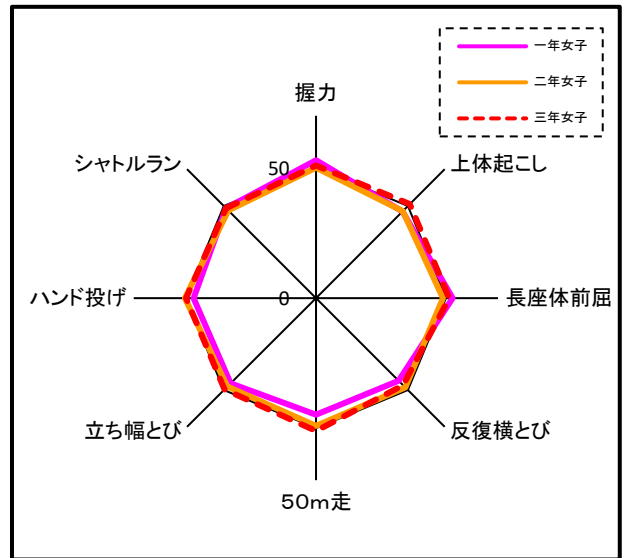
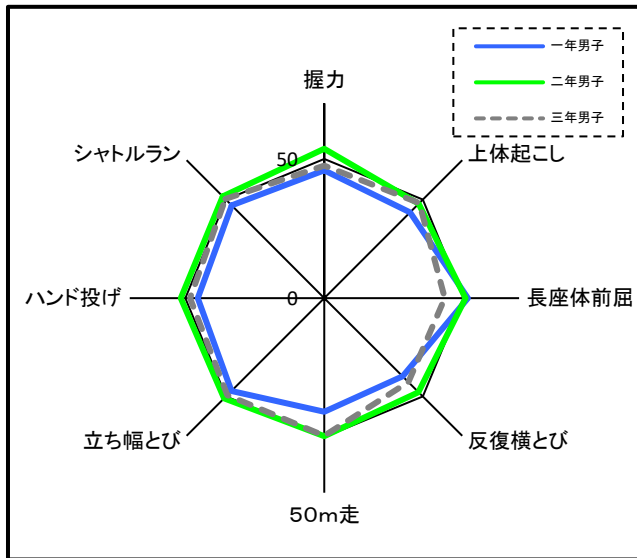
イ 人間関係づくりの活動やソーシャルスキルトレーニングを行い、適切な人との付き合い方を学ぶ機会を、各学年で2学期の初めや全校で月に1回程度設けます。

ウ 体育祭や合唱コンクールなどの学校行事を、安全を最優先に考えながら、生徒が主体的に運営するよう計画します。終了後に、Positive Reframing（肯定的な振り返り）を実施し、お互いのよさや貢献を言語化して伝え合い、認め合って感謝する活動を通して、達成感、充実感、自己有用感を高めます。

3 体育 目指す生徒「命を大切にし、自律的に生活習慣を改善する生徒」			
(1) 教育活動 <救急法講習会> <がん教育> <保健体育の授業> <いのちの安全教育>			
   			
(2) 成果目標	(3) 肯定的割合	(4) 評価	
① 全国体力テストで県平均を上回る項目が30項目以上になる。	20項目	C	
② 学校生活アンケート（7、12月）で、「保健体育の1時間の学習内容が理解できる」の肯定的評価が全校生徒で80%以上になる。	97.7%	A	
③ 「My 健」（6、10、1月）で、「メディアの適切な利用」、「学年×10分間以上の家庭学習」、「十分な睡眠」の目標達成率が70%以上になる。	メディア 53.1% 学習 51.7% 睡眠 56.6%	C	
④ 家庭での時間の使い方を工夫し、メディアと適切に利用するための「家庭での時間割」を作り、定期的に親子で話し合っていると回答する割合が70%以上になる。	31.7%	C	

(5) 成果と課題

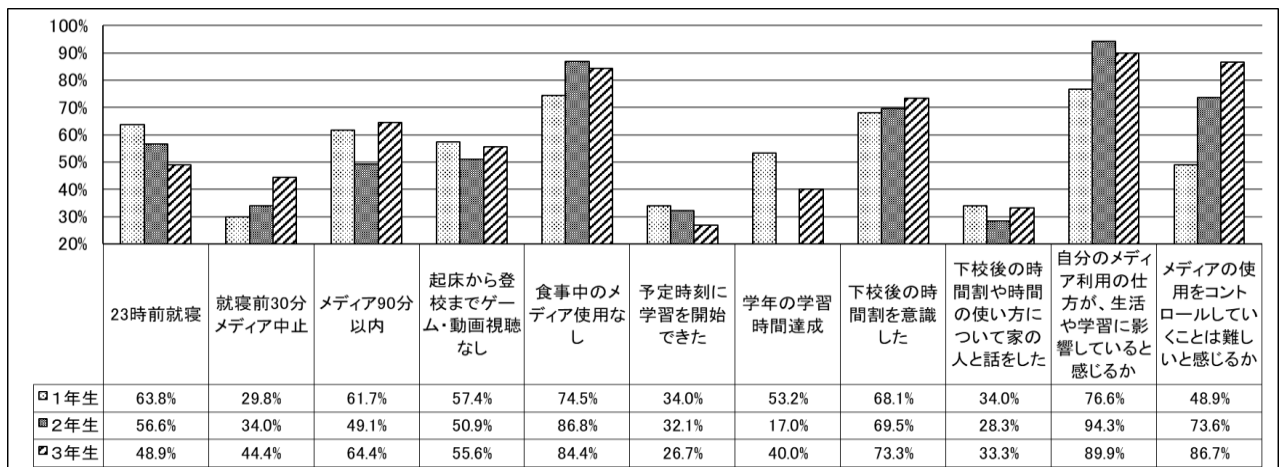
① 体力テスト



ア 今年度の体力テスト（5月～7月）で、2、3年生の全身持久力の項目が伸びました。しかし、1年生男子は、全ての項目が県平均を下回りました。全体的に筋持久力と柔軟性が平均値を下回りました。

イ 保健体育の学習内容を理解できる生徒が、97.7%となりました。保健の授業とともに、特別活動で全校救急法講習会（4月）や2年生がん教育（6月）などの保健教育を計画的に実施しました。生徒が、外部講師の専門的な話を聴いて理解を深めたことを授業や講演会の振り返りから確認することができました。

② 第1回「My 健」



ア 「食事中に機器を使用しない」生徒が、全学年で70%以上でした。

イ 「下校後の時間割を意識して生活できた」生徒が、全学年で70%程度でした。

ウ 「就寝前30分には機器を使うことをやめる」ことができた生徒は、全学年で45%以下でした。

エ 「23時前就寝」は、学年が上がるにつれて就寝時刻の達成率が下がりました。

オ 今年度から、家庭での時間の使い方を具体的に提案し、下校後の時間割を自分で作成して取り組むことを指導しています。第1回は、下校後の時間割を意識して生活した生徒が70%程度となりましたが、メディア、学習、睡眠の結果は目標値を下回り、最大の課題となっています。

(6) 今後の取組・改善点

- ① 持久力と柔軟性を高める基礎体力メニューを、体育の授業でウォーミングアップに含めて取り組みます。
- ② 各運動部で、必要な筋持久力と柔軟性に着目したメニューを考えて取り組みます。

- ③ 生活習慣病予防（9月）、薬物乱用防止教室（11月）を計画的に実施し、保健教育の充実の継続して取り組みます。
- ④ 下校後の自分の生活をマネジメントする力を付けるため、「My 健」での生活設計と実践の指導に今後も取り組みます。下校後の時間割を作成するときは、規則的な生活や学習の習慣形成について お子様と話し合うなどの活動を取り入れ、御家庭と連携して取り組みます。御協力をお願いします。

4 地域 「主体的に地域に貢献する活動を通してふるさとを愛する心をもつ生徒」			
(1) 教育活動 <フラワーロード> <地域貢献活動> <1人1ボランティア> <民踊流し>    			
(2) 成果目標	(3) 肯定的割合	(4) 評価	
① 学校生活アンケート（7，12月）で、「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦した」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。	76.3%	B	
② 学校評価アンケート（7，12月）で、「人の役に立つ人間になりたいと思う」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。	93.8%	A	
③ 学校生活アンケート（7，12月）で、「自分の住む地域に貢献したいという気持ちを持ち、地域貢献活動等に積極的に参加することができた」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。	90.6%	A	
④ 学校生活アンケート（7，12月）で、「自分が住む地域の様子（地域の特徴や行事、危険箇所など）について理解を深めた」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。	84.3%	A	

(5) 成果と課題

① 成果として、次のことが挙げられます。

ア 生徒たちは、人の役に立ちたいという気持ちで、積極的に地域貢献活動に取り組みました。

地域貢献活動に参加した生徒の感想

「みんなと協力しながらやれて楽しかった。地域のために働いている感じがして、やりがいがあった」

イ 今年度から「一人一ボランティア活動（手上げ式ボランティア）」を実施しています。下記の感想に示すように、地域コミュニティの行事やボランティアに参加した生徒たちは、地域に貢献できた喜びや自身の成長を実感していることが分かりました。

(ア) 見附市防災訓練（6月23日（日））に参加した生徒

「話したことのない地域の人と関わり合えた」、「水を配っているときに、地域の人に『ありがとうございます』と言われて嬉しかった」

(イ) 小丹生神社まつり（5月12日（日））に参加した生徒

『ポップコーンいりませんか？』と自分から声を出したり、『もう少しお待ちください』と呼び掛けたりして接客を頑張った」

(ウ) 田井小学校の芝桜の植栽に参加した生徒

「作業しながら、地域の方々といろいろな会話ができたので、コミュニケーション能力がついた」

② 課題として、次のことが挙げられます。

ア 「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦した」生徒が76.3%という結果でした。生徒の中には、失敗を避ける傾向があります。

イ やり方が分からないことや初めてのことで、その場で指示されたり任せられたりすることに対応することへの不安や心配があるのではないかとということも推察されます。

③ 今後の取組・改善点

- ア 生徒会を中心に「一人一ボランティア活動(手上げ式ボランティア)」の呼びかけを工夫し、全校生徒の地域の行事やボランティアへの参加を促します。
- イ 学級活動や教科指導を通して、教職員が生徒の失敗を許容する指導の構えをもちます。生徒が心理的安全をもって自分の考えを述べたり、新しいことや改善するため提案をしたりできる学級風土や授業づくりに取り組みます。
- ウ 総合的な学習の時間におけるアントレプレナーシップ教育を通して、自分で企画したり、運営したりする機会を設けるとともに、取組に対する自己評価を通してチャレンジ精神を育みます。

令和6年度前期学校保護者アンケートの御意見について

前期学校保護者アンケートに御回答くださり、ありがとうございました。今後も、皆様からいただいた評価を受けて、教育活動の改善と充実に取り組みます。

質問・意見・要望	回答
授業の進行に良くない行為をしたり、指示に従わないクラスメイトがいて、自分ばかり係の仕事をしたり授業の役割を担っていると感じる事が多くあるようで、不満を抱えているようです。	御意見ありがとうございました。8月27日(火)から9月13日(金)まで、全校生徒を対象に第2回教育相談を実施します。相談で率直に学級担任や相談しやすい教職員に、自分の気持ちを話してもらいたいです。学級担任からも、話題に出してもらいます。 学級担任は、夏休みに係活動や学級での役割を含めて、1学期の学級経営を振り返り、改善に取り組みます。
学習指導において、基礎・基本を徹底した上で、高校入試の記述問題にも対応できるように思考力と記述力の育成にも取り組んでいたけるとありがたいです。試験問題を毎回子供と一緒に振り返りをしていますが、もう少し勉強しがいのあるテスト問題も入れていただけると子どもの意欲も高まると思います。	御意見ありがとうございました。学力向上は、本校の最重要課題のひとつです。全国学力・学習状況調査や集団学力調査(CRT)の結果を分析して、定期テストの出題も改善が必要であると、職員研修で共通理解しました。 教職員が、学習を終えたときに何が分かり、できるようになるかや、テストでどのような解答ができるようにしたのかなどをしっかりと定めて授業し、テストでその姿を確認できるようにします。
入学前にいただいたしおりには、黒い靴下も指定となっていたが、実際に履いて行くと白にきなさいと注意を受ける。信頼を失いました。	御迷惑をおかけして誠に申し訳ございませんでした。これからは、発出する文書を十分に点検して、正確な内容を記載することに努めます。
連絡やお便りがなく、いつ、どのような持ち物が必要なのか全く分からない。急に言われても準備ができない為、困っている。お便りがある場合ももっと早めに出してほしい。	御意見ありがとうございました。できるだけ時間のゆとりをもって御連絡するよう努めております。御準備が間に合わないときは、担当教職員にお知らせくださいますようお願いいたします。
学校で公開授業があったので見に行ったら、各自のテスト勉強で授業をしてなかったのが残念でした。	御意見ありがとうございました。授業時数が限られていることやテスト勉強の時間が年間指導計画に含まれていないことを踏まえ、復習したり質問したりしたいときは、定期テスト前の学習補充教室を2回行いますので、そのときに教科担任に教わるよう指導します。
オープンスクールがたくさんあってよいと思います。	御意見ありがとうございました。オープンスクールは、4月から11月まで毎月1～2回実施します。 2学期は、次の日時で実施する予定です。 9月25日(水) 13:40～15:30

	5限の授業、終学活、県央地区新人大会激励会 11月8日（金）14：40～15：30 南中学校区小中いじめ見逃しゼロスクール集会 11月17日（日）8：45～15：30 見附子育て教育の日 生徒の集い（学校のきまりに関する話し合い）、学校説明会、見附市教育委員会の取組、各学年の発表会や説明会 11月22日（金）13：40～15：30 人権教育講演会 講師 北朝鮮拉致被害者 新潟産業大学経済学部教授 蓮池 薫 様 3学期は、予定がありません。上記の日時で、御都合が付くときに御来校ください。
中々机に向かわないので、毎日の宿題を増やしてほしいです。いやでも机に向かうように宿題を出してほしいです。切実です。	御意見ありがとうございました。本校は、「学年×10分間以上」の家庭学習を毎日実施するよう繰り返し指導しております。昨年度後半からは週末課題を必ず出して、週休日も学習するようにしました。 定期テスト2週間前からの「家庭学習強調旬間」や学期に1回実施する「My 健」（10月、1月）で、家庭学習の時間とメディアの時間を記録します。この期間が、お子様と家庭学習について話し合うよい機会であると思います。 教育相談でも、これらの期間の記録を見ながら、学級担任が個別に指導します。
校則を早く改正してください。 靴下の色の指定を無くしてくれて子供が喜んでいます。	学校のきまりの見直しは、生徒が健全で充実した学校生活を送り、よりよくしていくために、生徒、保護者、教職員がそれぞれの意見を出し合い、協議して、よりよい校則を考えます。今年度1月まで毎月の生徒会活動で計画的に取り組めます。保護者の皆様の御意見は、アンケートを実施し、11月17日（日）の「見附子育て教育の日」の生徒の集いで紹介する時間をもちたいと考えております。
部活で顧問の先生が暴言をはいたり、椅子をけるのをやめてほしいです。子供が家に帰ってきても引いてその話をしています。	大変申し訳ありませんでした。暴言は、相手の心に深い傷を負わせるものであり、人権を否定するようなことが決してあってはならないことです。7月に研修を実施し、決してこのようなことがないように厳しく指導しました。このようなことがあるときは、学校（教頭）にお知らせくださいますようお願いいたします。
体育祭の開催日について、今まで土曜開催だった行事ですね。いくら年間計画で予定されているとはいえ、平日の開催というのは、職種の特性上休みの調整が難しく、とても困りました。年々いろいろな事情で内容が短縮されており、半日という短い時間です。天候によっては延期になることもありますよね。 （その場合は仕方がないと思います。）秋は色々行事等あり、先生方も忙しい時期と思われますが、平日だとまるであまり保護者から見に来てもらわなくてもいいという風にさえ感じさせられてしまいます。平日開催は、見附市教育委員会の意向ですか？市内他の中学	御意見ありがとうございました。学校行事は、学校の教職員が当該年度の振り返りとともに、国や県の教育施策や方針などを参考にして、次年度の予定を決めます。 学校行事のアンケートは、昨年度10月に実施しました。結果等は、本校のホームページに掲載されている「令和5年度学校だより11月号」で御覧いただけます。 https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/minami/12706.html 見附市では、令和8年度に週休日の部活動が地域移行を完了する予定です。県内でも同様の対応をする自治体が多く、週休日に生徒が所属するチームやクラブ等が多様になることが予想されます。また、月曜日が振替休日や連休になり、他の曜日に比べて授業する日が少なく、その補充や

校はどうでしょうか？保護者の意見を聞いて、来年以降の開催日を決定していただきたいです。	回復も難しいことがあります。そのため、令和8年度に全ての学校行事を平日に実施することを考えております。 今年度は、保護者の皆様に御都合が付くときに授業や活動を御参観いただけるようにするため、オープンスクールを増やしました。体育祭も、学年種目を先行で実施しますが、その日時を御案内の文書に記載しました。 本校は、最重要課題として、「子どもと向き合う時間の確保」「学力向上のための授業改善、教材研究の時間の確保」のため、業務改善（教育課程と校時表の改善、勤務時間（超勤時間）削減等）に取り組みます。今後も、保護者、地域の皆様の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。
部活動について、希望する活動が市内にあるのか、対象年齢が当てはまっているのか、クラブを探すところからとても苦労しました。 また、申込はしましたが、人数が上限に達しているため受け入れができないという返事があり、現在も探している状況です。	御意見ありがとうございました。見附市では、令和8年度に週休日の部活動が地域移行を完了する予定です。運動系の部に加えて、文化系の部の活動も移行する計画です。 県内でも同様の対応をする自治体が多く、週休日に生徒が所属するチームやクラブ等が多様になることが予想されます。
いつも丁寧に暖かい対応をしていただき感謝しております。小学校も共通して感じるのですが、朝6時台に朝食摂取して昼食が12:30では、かなり空腹で授業に集中できないという声を生徒からも聞いています。低血糖で気分が悪くなる、片頭痛を引き起こすなどの体調不良を予防するためにも、水筒のお茶だけで頑張らせるのは酷暑の時期も来るので、エネルギー補給させてあげる時間を、大人が考えてあげてほしいと思います。 ホームページが充実していることに気がついてなかったのが、カラーで拝見できるしこれならお便りの紙配布なくてもよい内容のものもあるかな、と必要な家庭は自身でプリントすればコスト削減につながると感じました。	御意見ありがとうございました。中学校の授業は50分間と学習指導要領に定められており、年間授業時数も教科ごとに決められております。それを満たすために、午前中4時間、午後2時間の授業を変えるのは難しいのが現状です。校時表は、今年度に大きく変更しました。今後もよりよい運用ができるように、教職員が意見を出し合って参ります。 ホームページを御覧いただき、ありがとうございます。tetoruと併用して、皆様に学校生活の様子や連絡などをお知らせしようと努めております。おたよりなどを紙面で配付することの必要性は、御家庭によりいろいろな御意見があるのではないかと思います。PTA役員会や期末保護者会などで、皆様の御意見を聞いたりしながら、より確実に御覧いただけるように努めます。
ホームページで更新される活動の写真をいつも楽しみにしています	
災害時の簡易ベッドやパーテーション？設営の親子行事、授業で手回しで発電させるラジオ兼ライト作りがあったと思いますが、授業の一環として災害時の食事（パッキングご飯でしたっけ？）作りについて取り入れるといいかと思います！私自身機会があり参加したことがあります、子供達自身も知識として知っておくとすごくよいと思いました。	御意見ありがとうございました。防災教育は、災害の分類ごとに年間2回程度、2～3時間学習します。御提案いただいた活動は、来年度の避難訓練で実施してもよいと思いました。消防署や防災の専門的な立場で御指導くださる方などから講習会をもっていただくなど、来年度の教育活動に導入できるか検討させていただきます。